

| 目標 | Ⅲ | 健やかな体の育成 | | |
|--|----------------------------------|--|--|-----|
| 施策 | 9 | 健康の保持増進 | | |
| 主な取組 | ○ 学校保健の充実 | | | |
| | ○ 妊娠・出産・不妊に関する知識の普及啓発と性に関する指導の推進 | | | |
| | ○ 薬物乱用防止教育の推進 | | | |
| | ○ 食育の推進 | | | |
| | ○ 基本的な生活習慣の確立に向けた支援 | | | |
| 担当課 | 保健体育課 | | | |
| 主な事業 | | | | |
| 事業名 | 予算額 (千円) | 事業の概要 | 事業の自己評価 | 担当課 |
| 学校健康教育 推進費のうち 食育の普及拡大、食物アレルギー・アナフィラキシー対応関係 | 2,694 | <p>[食育の普及拡大]</p> <p>食育指導力向上授業研究協議会の開催校である小学校3校、中学校2校において、児童生徒の食に対する意識の向上を目指した取組を、学校全体で行う。また、各校で授業研究協議会を実施し、効果的な推進方法について情報交換を行う。</p> <p>朝食の重要性を伝える食育推進リーフレットは、令和2年度に引き続き、小学校1・5年生、中学校1・3年生等の保護者に配布する。</p> <p>「彩の国学校給食研究大会」を開催し、先進校の実践発表や講演会を行う。</p> <p>児童生徒が望ましい食習慣を身に付けられるよう、食育を推進するリーダーとなる教員のための研修を行う。</p> <p>○食育指導力向上授業研究協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3校、中学校2校で実施 ・参加者数：277人 ・実施日：令和3年10月～令和3年11月 ・内容：公開授業と講演会、研究協議 <p>○彩の国学校給食研究大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：令和3年11月2日 ・参加者数：189人 ・内容：先進校の実践発表、講演 <p>○食育推進リーダー育成研修会</p> <p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：令和3年7月20日～令和3年8月31日（資料配布・動画配信） ・対象者：栄養教諭 <p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：令和4年2月24日～令和4年3月22日（資料配布・動画配信） | <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和3年度は集合研修のうち、食育推進リーダー育成研修会を資料配布・動画配信で行った。</p> <p>また、食育指導力向上授業研究協議会では、県内の小学校3校、中学校2校での研究授業を通し、指導方法の工夫・改善を図ることができた。</p> <p>彩の国学校給食研究大会では、先進校の実践発表を行い、学校給食の意義と役割について、学校給食関係者の理解を深めることができた。</p> <p>県では食育先進校の事例や研修会の参加者アンケート結果から学校の食育の課題等を認識し、県からの情報提供や食育指導力向上授業研究協議会における指導講評に生かしている。教職員一人一人の食への関心を高めること、学校給食を生きた教材として活用することなど、研修会及び協議会参加者に対して啓発を図るとともに、食育に関する課題等について共有することができた。</p> <p>令和4年度は令和3年度とは異なる5校で食育指導力向上授業研究協議会を開催する。彩の国学校給食研究大会でも令和3年度までとは異なる学校から発表をしてもらうことで、より多くの事例を学び、受講者が学校現場で活用できるようにする。</p> <p>食物アレルギー・アナフィラキシー対応については、各研修会を通じて、学校栄養士や栄養教諭を含む教職員等に対し、学校における食物アレルギー・アナフィラキシー対応の徹底を指導し、意識の向上を図ることができた。また、市町村教育委員会担当者対象の研修会では、各市町村の課題を出し合い共有するとともに、改めて市町村教育委員会としての体制整備の必要性について周知した。あわせて、実際の学校での研修に生かせるよう、講義には事例を用いた演習を取り入れた。</p> | 保体 |

| | | | | |
|--|-----|---|--|----|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：県内公立学校教員（管理職・食育主任等）、養護教諭、市町村教育委員会食育・給食担当者 <p>[食物アレルギー・アナフィラキシー対応関係] 児童生徒の食物アレルギー・アナフィラキシーに対応するため、教職員を対象に十分な知識の普及を目的とする研修会を実施する。</p> <p>教職員対象の研修会： 令和3年9月（中止）、12月実施（244人参加）</p> <p>市町村教育委員会担当者研修会： 令和4年1月20日実施（オンライン開催 36人参加）</p> | | |
| <p>学校健康教育推進費のうち</p> <p>性に関する指導普及推進関係</p> | 628 | <p>児童生徒の発達の段階に応じた、効果的な性に関する指導の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「性に関する指導」課題解決検討委員会の開催（令和3年7月、8月、令和4年1月） ○「性に関する指導」指導者研修会（オンライン） <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：令和3年11月17日 ・参加者数：149人 ○「性に関する指導」授業研究会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 桶川市立加納小学校 令和3年10月22日 42人 行田市立忍中学校 令和3年11月24日 11人 与野高等学校 令和3年11月16日 9人 | <p>学習指導要領の趣旨に基づいた、効果的な「性に関する指導」を推進するために、学識経験者を含めた課題解決検討委員会を開催し、発達の段階に応じた指導法の研究・普及・実践を行った。</p> <p>研修会では、小・中・高の発達段階に応じた実践についての発表により、効果的な指導及び系統性を踏まえた指導についての理解が深まった。また、文部科学省の調査官による講演では、新学習指導要領の読み取りや内容に基づく事例の紹介等により授業づくりについての理解が深まった。</p> <p>授業研究会では、ICTの活用やチーム・ティーチングなどの指導方法の工夫や新たな視点による授業展開など、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた充実した授業を提案することができた。</p> <p>今後、より効果的な指導法を研究し、「性に関する指導」の一層の推進を図っていく。</p> | 保体 |
| <p>学校健康教育推進費のうち</p> <p>薬物乱用防止教育関係</p> | 229 | <p>大麻事犯については、インターネット等における誤った情報が氾濫する中、若年層を中心に増加傾向が続いているなどをはじめとした最新の情報を取り入れた薬物乱用防止教育に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教員と外部指導者の指導力向上のための研修会の実施 ○専門家を活用するなど「薬物乱用防止教室」の充実 ○令和3年4月20日付け教保体第176号「令和3年度薬物乱用防止教室の開催について（通知）」により小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校等に対し、学校において、保健計画に位置付け、年1回以上開催するよう依頼している。 ○薬物乱用防止教室は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、開催方法を工夫して実施するよう依頼している。 <p>【令和3年度 薬物乱用防止教室実施率】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小・中学校、義務教育学校、高等学校 100% 特別支援学校 75.6% | <p>令和3年における埼玉県の少年（19歳以下）の薬物検挙者数は、覚醒剤8人、大麻25人、指定薬物0人であり、覚醒剤・大麻ともに検挙者数が増加した。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった取組（研修会）について、感染症の状況を踏まえ、令和3年度はオンラインで開催し179人の参加があった。研修会参加者から「薬物乱用防止教育は生きる力を育む教育であることが分かった。横断的・継続的に教育活動全体を通して取り組むことが重要であると実感した。」との感想が多く寄せられ、各学校における薬物乱用防止教育の充実が図られると期待できる。</p> | 保体 |

| | | | | |
|---|--------------|---|---|-----------|
| <p>学校保健総合支援事業(がん教育総合支援事業)</p> | <p>1,484</p> | <p>がんに対する正しい知識とがん患者への正しい理解及び命の大切さに対する認識を深めるため、がん教育に関する取組を実施する。 ○埼玉県がん教育推進連絡協議会の開催(令和3年7月、令和4年1月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん教育指導者研修会(オンライン開催) 実施日:令和3年9月15日 参加者数:188人 ・がん教育授業研究会 草加市立八幡小学校 実施日:令和3年11月30日 参加者数:64人 加須市立加須平成中学校 実施日:令和3年10月26日 参加者数:25人(校内のみ) 北本高校 実施日:令和3年11月12日 参加者数:21人 ・がん教育外部講師研修会(オンライン) 実施日:令和4年2月3日 参加者数:35人 | <p>学校におけるがん教育の充実を図るためには、がんについての正しい理解と、がんと向き合う人々(がん患者や家族など)に対する共感的な理解を深めることを通して自他の健康と命の大切さを学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力を育成することが必要である。 学識経験者や医療関係者等を含めた「がん教育推進連絡協議会」を設置し、「がん教育推進計画」の作成等に対し指導・助言を行うことで、学校におけるより効果的ながん教育の在り方について理解を深め、県内への啓発を図ることができた。 がん教育指導者研修会、授業研究会、外部講師研修会を通して、がん教育についての理解を更に深めることができた。各種研修会及び授業研究会等への外部講師関係者の参加人数も増えており、外部講師と連携したがん教育の推進に資することができた。 保健医療部疾病対策課と連携した外部講師の活用体制の整備、及び外部講師研修会の開催により、外部講師と連携した効果的ながん教育の推進を図ることができた。</p> | <p>保体</p> |
| <p>望ましい生活習慣を子供たちに身につけるための取組</p> | <p>0</p> | <p>J A埼玉県中央会と埼玉県学校給食会の協賛を受け、朝食の重要性を伝える保護者向け食育推進リーフレットを作成し、県内公立小学校1・5年生、中学校1・3年生等の全家庭に配布する。(部数:約21万部) 定期健康診断などの結果を踏まえ、必要に応じて養護教諭、学校医等による健康相談・保健指導を実施する。</p> | <p>望ましい食習慣を子供たちが身に付けるためには、保護者の協力が不可欠である。食育推進リーフレットの保護者への配布を通して、学校と家庭の連携を図ることができた。 定期健康診断の結果、治療や精密検査が必要な児童生徒に対し、受診を促すとともに、健康相談・保健指導を実施し、健康の保持増進を図ることができた。</p> | <p>保体</p> |
| <p>児童生徒のための体力向上推進事業のうち 体力課題解決研究指定校、「生活習慣診断シート」の活用</p> | <p>0</p> | <p>体力課題解決研究指定校(2年間の研究指定)において運動習慣を含めた生活習慣の改善を図る取組を研究実践する。その成果は、体力課題解決研究指定校研究発表会や体力向上フォーラム(令和3年度は資料提供)、体力向上推進事業報告書等において全県に発信する。 生活習慣の改善を図ることを目的に、「生活習慣診断シート(毎日の睡眠時間、食事や運動状況などを記録)」を活用し、家庭との連携を推進し、基本的な生活習慣の確立を図る。 ○体力課題解決研究指定校 ・令和2年度、令和3年度 小学校:3校 中学校:1校 ・令和3年度、令和4年度 小学校:5校 ○体力向上フォーラム ・資料提供</p> | <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、児童生徒の生活様式や運動習慣が変わり、新体力テストの結果では体力の低下が見られた。 体力課題解決研究指定校では、感染防止対策を徹底しながら、児童生徒の運動習慣と生活習慣の改善に向けて多くの取組が行われた。それらの好事例を成果資料として全県に周知を行い、体力向上の取組を推進できた。</p> | <p>保体</p> |

| <p>施策指標の達成状況・原因分析</p> | <p>●毎日朝食を食べている児童生徒の割合 (%) [出典：全国学力・学習状況調査]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>小6</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小・割合</td> <td>86.6</td> <td>88.5</td> <td>-</td> <td>87.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>年度目標値</td> <td></td> <td>87.3</td> <td>88.0</td> <td>88.7</td> <td>89.4</td> <td>90.0</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>中3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中・割合</td> <td>80.7</td> <td>83.3</td> <td>-</td> <td>81.6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>年度目標値</td> <td></td> <td>82.6</td> <td>84.5</td> <td>86.4</td> <td>88.3</td> <td>90.0</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>【原因分析】 コロナ禍により、生活習慣や食習慣に影響を及ぼし、朝食摂取率の低下につながった可能性がある。 朝食の重要性を伝えるリーフレットを、令和2年度に引き続き小学校1・5年生、中学校1・3年生の保護者に配布し、家庭での食の大切さを啓発した。 児童生徒の「望ましい食習慣」育成のため、全ての学校教育活動に食育の視点を取り入れられるよう、教職員の意識を高める取組を行った。まず、食育指導力向上授業研究協議会の会場校、小学校3校、中学校2校において、児童生徒の食に対する意識の向上を目指し、例えば朝食の重要性をクイズ形式で学ぶなどの取組を行った。 また、各校で授業研究協議会を実施し、効果的な推進方法について情報交換を行った。さらに、食育を推進するリーダーとなる教員のための資料配布や動画配信を実施した。</p> | 年度 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | 小・割合 | 86.6 | 88.5 | - | 87.0 | | | 年度目標値 | | 87.3 | 88.0 | 88.7 | 89.4 | 90.0 | 年度 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | 中・割合 | 80.7 | 83.3 | - | 81.6 | | | 年度目標値 | | 82.6 | 84.5 | 86.4 | 88.3 | 90.0 | <p>保体</p> |
|-----------------------|---|-----------|------|------|------|------|----|----|------|------|------|---|------|--|--|-------|--|------|------|------|------|------|----|-----|----|----|----|----|----|------|------|------|---|------|--|--|-------|--|------|------|------|------|------|-----------|
| 年度 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小・割合 | 86.6 | 88.5 | - | 87.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度目標値 | | 87.3 | 88.0 | 88.7 | 89.4 | 90.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中・割合 | 80.7 | 83.3 | - | 81.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度目標値 | | 82.6 | 84.5 | 86.4 | 88.3 | 90.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>学識経験者の意見・提言</p> | <p>一昨年来どうしても朝食が食べられない児童生徒への有効な事業の検討について提言があるが、おそらくコロナ禍の影響も加わり、朝食の摂取率が低下した。食育推進リーダー育成やリーフレットの配布など多くの取組がなされているものの、成果につながらなかったのは残念である。家庭の協力が無ければ朝食が摂れない子供を減らすのは難しいので、食育推進リーダーによる個別指導等、一歩踏み込んだ対応策を検討する必要があるのではないか。県内の19歳以下の薬物検挙者数が増加し、中でも覚醒剤での検挙者が8名と大幅に増加した。薬物乱用防止教室の開催状況を適切にフォローしていただきたい。</p> <p>新型コロナウイルスの影響が続き、朝食摂取率は低下しているが、小6で87.0%、中3で81.6%と、いずれも8割を超える水準を維持している。食育推進リーダー育成研修会は動画配信により実施されたことで、より多くの教職員が参加の機会を得た。研修の成果を教育現場で生かすことで、児童生徒に対する食育指導のより一層の充実が期待される。また「食物アレルギー・アナフィラキシー対応」は児童生徒の命に係わる重要な課題であるが、9月は中止となったものの、12月には244人が参加して実施できたことは大きな成果である。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>今後の取組</p> | <p>朝食摂取率の更なる向上については、関係課と協力して家庭との連携を一層推進していく。個別指導については、各家庭の実情に応じて各学校で食育推進リーダーを含めた教員が連携・工夫して行うことになる。食育推進リーダー育成研修会は、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、1回は動画配信とし、1回は集合研修とすることで参加者同士の横のつながりを作り、お互いの取組から学び合う機会とするなど、より一層の充実を図っていく。また、令和4年度「彩の国学校給食研究大会」でプロスポーツチームの栄養管理スタッフを講師として招くなど、様々な立場の方から朝食の重要性を教職員が学ぶ機会を設ける。</p> <p>食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修については、誤食の未然防止及び、緊急事態発生時の的確な対応・体制整備について、実効性の高い研修となるよう努める。</p> <p>薬物乱用防止教室については、引き続き学校保健計画に位置付け、年1回以上開催するよう周知するとともに、外部講師の積極的な活用や保護者及び地域住民の参加を促す等、関係機関と連携し推進する。</p> <p>コロナ禍において、中止を余儀なくされた各種研修会や会議について、今一度、オンラインによる開催等、開催方法の見直しを行い、より実効性のある各種研修会等を実施する。</p> <p>体力向上については、新型コロナウイルス感染症の影響で、児童生徒の生活様式や運動習慣が変わり、新体力テストの結果では体力の低下が見られたが、体力課題解決研究指定校では、児童生徒の運動習慣と生活習慣の改善に向けて多くの取組が行われており、それらの好事例を成果資料として全県に周知していく。</p> | <p>保体</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 目標 | Ⅲ | 健やかな体の育成 | | |
|--|------------------------------|---|---|-----|
| 施策 | 10 | 体力の向上と学校体育活動の推進 | | |
| 主な取組 | ○ 児童生徒の体力の向上 | | | |
| | ○ 体育的活動の充実 | | | |
| | ○ 生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する資質の育成 | | | |
| | ○ オリンピック・パラリンピック教育の推進（再掲） | | | |
| | ○ 持続可能な運動部活動の運営 | | | |
| 担当課 | 高校教育指導課、保健体育課、義務教育指導課 | | | |
| 主な事業 | | | | |
| 事業名 | 予算額 (千円) | 事業の概要 | 事業の自己評価 | 担当課 |
| 児童生徒のための体力向上推進事業のうち 新体力テストの実施 / 体力プロフィールシート等の活用の推進 / 成長の記録の共有・活用・研究 | 3, 273 | <p>新体力テストの実施を通して、自己の体力を理解させ、自らが健康の増進・体力の向上を図ることができるようにするとともに、教師が児童生徒の体力の実態を把握し、体育指導に生かす資料とする。</p> <p>○新体力テスト結果の分析 小学校：98.4% 中学校：100% 高等学校（全日制）：98.5% ※新体力テストの結果を自校の児童生徒の体力分析に活用している学校の割合</p> <p>○体力プロフィールシート等の活用状況 小学校：93.87% 中学校：97.76% 高等学校（全日制）：99.26% ※個々の体力の状況やアドバイスが示される体力プロフィールシートを児童生徒に配布する等、児童生徒の体力向上に活用している学校の割合</p> <p>○体力課題解決研究指定校 ・令和2年度、令和3年度 小学校：3校 中学校：1校 ・令和3年度、令和4年度 小学校：5校</p> <p>○体力向上フォーラム：中止（資料提供） ※成果のあった体力向上に係る取組について県内に発信する。</p> | <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、各学校において任意での実施としたため、県独自の体力プロフィールシート等の活用状況は減少傾向であった。令和3年度の新体力テストは、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での実施としたので、令和2年度よりも、県独自の体力プロフィールシート等を活用する学校が増え、個々の体力の課題に応じた取組を行うことができた。</p> <p>体力向上フォーラムは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、資料提供となったが、成果のあった体力向上に係る取組を県内に発信することができた。</p> <p>今後も運動好きな児童生徒の育成を継続しながら、児童生徒一人一人の体力の向上を目指す。</p> | 保体 |
| 学校体育実技指導研修事業 | 2, 459 | <p>県内小・中・高等学校の教員を対象に、実技研修会や講習会を実施し、教員の資質向上を図る。</p> <p>小学校は令和3年5月13日、14日に水泳運動系を川口市立東スポーツセンターで、令和3年6月9日、10日にボール運動系・体づくり運動系・幼児の運動遊び・器械運動系・保健領域を彩の国くまがやドームで開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。</p> <p>中・高等学校は令和3年5月11日、12日に水泳を浦和高校で、令和3年6月1日、2日に柔道・剣道・ダンス・体づくり運動を県立武道館・スポーツ総合センターで開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。</p> | <p>令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、研修を中止した。</p> <p>中・高等学校の研修については、2日間の研修内容となっていたが、令和2年度の中止による参加方法の変更や参加者の負担軽減等に鑑み、1日で行える内容に改めた。その上で、研修の各領域の1日目を令和2年度に受講予定だった教員、2日目を令和3年度に受講予定の教員を対象に行うこととしていた。</p> <p>令和3年度も中止としたことから、教員に対しては、参加予定だった領域の講師による提供資料を基に机上研修を行い、レポート提出をもって受講終了とした。</p> <p>令和4年度は、研修実施を予定しており、参加者の資質向上に向けて、講師との連携を深め、指導内容の充実等を図っていく。また、中・高等</p> | 保体 |

| | | | | |
|--------------------------------------|-------|--|---|----------------|
| | | | 学校の水泳以外の研修については、参加者が少しでも受講しやすい時期を考慮し、夏季休業期間中（8月）に行うことを予定している。 | |
| 運動部活動全国・関東大会派遣等事業のうち 運動部活動指導者研修事業 | 1,982 | <p>スポーツの魅力に触れることができる運動部活動の充実を図るため、外部人材を活用し、生徒が生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質能力を育むとともに、指導者の講習会を実施し、部活動顧問の資質向上を図る。</p> <p>○運動部活動指導者講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：令和3年8月17日（中止） ・対象：中・高等学校の運動部活動顧問及び部活動指導員等 ・内容：「埼玉県の部活動の在り方に関する方針」に基づく部活動指導及び事故防止に関する講義や運動能力を高める基礎トレーニングについての実技講習 | <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止とし、参加予定者には講習会資料を送付した。</p> <p>令和4年度以降においても、講義と実技講習の両面から、「埼玉県の部活動の在り方に関する方針」に基づく適正な運動部活動の運営等の講義と効率的・効果的な実技講習を通して、指導者の資質向上を図っていく。</p> | 保体 |
| 運動好きな児童生徒の育成 | 941 | <p>運動好きな児童生徒を育成するため、専門的な知識や経験を有する教員や専門家等による推進委員会を設置し、体育授業における教員の指導力向上や教具・教材の開発等を検討する。令和3年度は授業充実を図るため、単元計画作成のポイントをまとめたリーフレットを作成し、各学校に配布した。</p> <p>（令和3年度は計6回の委員会を開催し、趣旨の説明、小、中、高の授業参観及び協議、リーフレット作成に向けた協議を行った。）</p> | <p>令和3年度からの新規事業のため、具体的な成果については、令和4年度以降の「全国体力、運動能力・運動習慣等調査」の児童質問紙調査や、委員会作成のアンケート（内容検討中）結果にて検証していく。</p> | 保体 |
| 埼玉県の部活動の在り方に関する方針 | 0 | <p>生徒が生涯にわたって豊かな生活を実現する資質・能力を育む基盤として部活動を持続可能なものとするため、生徒にとって望ましいスポーツ、文化及び科学等の活動の環境を構築するとともに教員の負担軽減の観点に立ち、地域、学校、競技種目等に応じた多様な形で最適に実施されることを目指す。</p> <p>○適切な休養日、活動時間の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週当たり2日以上休養日（平日1日以上、土曜日及び日曜日1日以上）を設定する。 ・1日の活動時間は、平日2時間程度、休業日3時間程度とする。 <p>○部活動実施状況調査（令和3年11月）の結果</p> <p>※平均活動時間：運動部・文化部共通の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校 <ul style="list-style-type: none"> 平均活動時間 平日：57分 週休日：2時間38分 平均休養日1日未満の運動部活動数の割合 平日：0.1%（3/3,766部） 週休日：1.8%（69/3,766部） ・高等学校（全日制） <ul style="list-style-type: none"> 平均活動時間 平日：1時間44分 週休日：2時間27分 平均休養日1日未満の運動部活動数の割合 平日：9.6%（195/2,034部） 週休日：19.1%（388/2,034部） | <p>令和2年度のフォローアップや各種会議・研究協議会等での周知徹底により、市町村、県立高校とともに、活動時間の改善や休養日の確保が図られた。</p> <p>令和3年度の調査結果では、おおむね通知の範囲の中で部活動が行われているが、個別に見ると、課題のある市町村や学校が見られた。特に、調査時期の令和3年11月は大会期と重なり、休業日の活動時間が通知の範囲を超えていたり、休養日1日未満となっていたりする部活動が一定数見受けられた。</p> <p>課題の見られた県立高校4校と市町村教育委員会2か所を直接訪問し、適正化に向けた支援を行った。</p> <p>令和2年度に適正化に向けた支援を行った県立高校5校と市町村教育委員会5か所については、新型コロナウイルス感染症による部活動の制限もあり単純な比較はできないが、市町村、県立高校とともに、活動時間や休養日の改善が図られていた。</p> | 保体 |
| 部活動指導員の活用 → 施策18参照 | | | | 保体 高指 義指 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|------|------|------|------|------|------|----|----|--|------|------|------|---|------|--|--|-------|--|--|------|------|------|------|------|------|-----|-----|----|----|----|----|----|--|------|------|------|---|------|--|--|-------|--|--|------|------|------|------|------|------|-----|-----|----|----|----|----|----|--|------|------|------|---|------|--|--|-------|--|--|------|------|------|------|------|--|
| <p>施策指標の達成状況・原因分析</p> | <p>●体力の目標達成状況 体力テストの5段階絶対評価で目標を達成した学校の割合 (%) [出典：埼玉県児童生徒の新体力テスト]</p> <p>小学校</p> <table border="1"> <tr><td>小・割合</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr> <tr><td></td><td>75.1</td><td>75.9</td><td>71.4</td><td>-</td><td>48.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>年度目標値</td><td></td><td></td><td>76.7</td><td>77.5</td><td>78.3</td><td>79.1</td><td>80.0</td></tr> </table> <p>中学校</p> <table border="1"> <tr><td>中・割合</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr> <tr><td></td><td>63.8</td><td>66.6</td><td>53.2</td><td>-</td><td>30.8</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>年度目標値</td><td></td><td></td><td>64.2</td><td>64.4</td><td>64.6</td><td>64.8</td><td>65.0</td></tr> </table> <p>高等学校(全日制)</p> <table border="1"> <tr><td>高・割合</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr> <tr><td></td><td>50.7</td><td>52.9</td><td>48.5</td><td>-</td><td>43.4</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>年度目標値</td><td></td><td></td><td>53.8</td><td>54.4</td><td>55.0</td><td>55.0</td><td>55.0</td></tr> </table> | 小・割合 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | 75.1 | 75.9 | 71.4 | - | 48.0 | | | 年度目標値 | | | 76.7 | 77.5 | 78.3 | 79.1 | 80.0 | 中・割合 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | 63.8 | 66.6 | 53.2 | - | 30.8 | | | 年度目標値 | | | 64.2 | 64.4 | 64.6 | 64.8 | 65.0 | 高・割合 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | 50.7 | 52.9 | 48.5 | - | 43.4 | | | 年度目標値 | | | 53.8 | 54.4 | 55.0 | 55.0 | 55.0 | <p>保体</p> <p>【原因分析】 体力テストの5段階絶対評価で上位3ランク（A+B+C）の児童生徒の割合は、令和元年度と比較すると各校種ともに低下している。この要因には、新型コロナウイルス感染症に伴う体育授業や部活動の制限、日常的な運動不足等が考えられる。また、小学校と中学校においては、目標値から-5%の範囲の学校が多い。目標に達していない学校数を減少させ全体の底上げを図っていくが、学校によって課題は異なり、体力向上の取組に差が大きいことが課題である。</p> |
| 小・割合 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 75.1 | 75.9 | 71.4 | - | 48.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度目標値 | | | 76.7 | 77.5 | 78.3 | 79.1 | 80.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中・割合 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 63.8 | 66.6 | 53.2 | - | 30.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度目標値 | | | 64.2 | 64.4 | 64.6 | 64.8 | 65.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高・割合 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 50.7 | 52.9 | 48.5 | - | 43.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度目標値 | | | 53.8 | 54.4 | 55.0 | 55.0 | 55.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>施策指標の達成状況・原因分析</p> | <p>●体力の目標達成状況 体力テスト8項目中5項目以上個々の目標を達成した児童生徒の割合 (%) [出典：埼玉県児童生徒の新体力テスト]</p> <p>小学校</p> <table border="1"> <tr><td>小・割合</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr> <tr><td></td><td>54.2</td><td>54.1</td><td>49.1</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>年度目標値</td><td></td><td></td><td>54.1</td><td>54.7</td><td>55.0</td><td>55.0</td><td>55.0</td></tr> </table> <p>中学校</p> <table border="1"> <tr><td>中・割合</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr> <tr><td></td><td>53.0</td><td>54.2</td><td>47.6</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>年度目標値</td><td></td><td></td><td>53.4</td><td>53.6</td><td>53.8</td><td>53.9</td><td>54.0</td></tr> </table> <p>高等学校(全日制)</p> <table border="1"> <tr><td>高・割合</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr> <tr><td></td><td>54.7</td><td>56.2</td><td>52.1</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>年度目標値</td><td></td><td></td><td>56.2</td><td>56.6</td><td>57.0</td><td>57.0</td><td>57.0</td></tr> </table> | 小・割合 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | 54.2 | 54.1 | 49.1 | - | - | | | 年度目標値 | | | 54.1 | 54.7 | 55.0 | 55.0 | 55.0 | 中・割合 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | 53.0 | 54.2 | 47.6 | - | - | | | 年度目標値 | | | 53.4 | 53.6 | 53.8 | 53.9 | 54.0 | 高・割合 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | 54.7 | 56.2 | 52.1 | - | - | | | 年度目標値 | | | 56.2 | 56.6 | 57.0 | 57.0 | 57.0 | <p>保体</p> <p>【原因分析】 本指標は、前年度の記録から個々の目標が設定される。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、中止や任意実施となったため、数値を把握できない。また、本指標は前年度の実績値が高いと翌年度の実績値は下がる傾向にあるため、児童生徒一人一人の目標や課題意識を持って運動や体育授業に取り組めるよう、体力プロフィールシート等の活用の一層の推進が必要である。</p> |
| 小・割合 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 54.2 | 54.1 | 49.1 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度目標値 | | | 54.1 | 54.7 | 55.0 | 55.0 | 55.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中・割合 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 53.0 | 54.2 | 47.6 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度目標値 | | | 53.4 | 53.6 | 53.8 | 53.9 | 54.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高・割合 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 54.7 | 56.2 | 52.1 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度目標値 | | | 56.2 | 56.6 | 57.0 | 57.0 | 57.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | |
|-----------------|--|----|
| 学識経験者の 意見・提言 | <p>指標である体力テスト結果の悪化度合いが非常に大きい。コロナ禍の影響が直接的に現れていると考えられ対策が求められるところ、学校独自の取組（一人のできる運動等）により、子供たちの体力維持に取り組んでいる学校があるとのことで、大変良い取組である。このような好事例を集めて、広く展開していくことで効果が期待できると思う。令和3年度に開始された「運動好きな児童生徒育成推進委員会」での協議内容を現場で認識し活用できるよう、ホームページ等での公開等を検討いただきたい。</p> | |
| | <p>体力の目標達成状況の指標として、前年度の記録に基づいて個々に目標を設定し、目標を達成した児童生徒の割合を設定していることは、評価サイクルの視点からも有効である。令和3年度は新型コロナウイルス感染症等の影響により、目標を達成した児童生徒の割合は低下しているが、ほとんどの学校が「体力プロフィールシート」等を活用しており、児童生徒の体力向上に向けた意識を強化している。</p> <p>令和3年度からスタートした新規事業「運動好きな児童生徒の育成」では、リーフレットの作成が行われたが、今後の展開に期待したい。</p> | |
| 今後の取組 | <p>文化部活動指導員については、今後も希望する学校において配置し、その取組状況や効果を各学校へ周知していく。</p> | 高指 |
| | <p>体力プロフィールシート等の活用を一層推進させること等により、低下した体力の目標達成状況の改善を図る。</p> <p>学校体育実技指導研修事業は令和4年度実施を予定しており、参加者の資質向上に向けて、講師との連携を深め、指導内容の充実等を図っていく。</p> <p>また、部活動関連に関しては、令和4年度講義と実技講習の両面から、「埼玉県の部活動の在り方に関する方針」に基づき、適正な運動部活動の運営等の講義と効率的・効果的な実技講習を行う。</p> <p>さらに、運動好きな児童生徒育成推進委員会では、令和3年度に作成し県のホームページで公開しているリーフレットについて、市町村教育委員会指導主事会議や高等学校体育主任会議等において活用方法を説明し、学校現場で活用されるように周知を図っていく。</p> | 保体 |
| | <p>部活動実施状況調査等から部活動の活動状況を把握し、課題を抱える市町村教育委員会に対して部活動指導員配置の効果等を周知し、より一層の適切な配置を進めていく。</p> | 義指 |